日本認知言語学会第9回全国大会プログラム 【1日目】

9月13日(土) 受付9時30分から

		第1室	第2室	第3室	第4室	
		1B館 1B011	1B館 1B013	1B館 1B014	1B館 1B015	
ワー クショップ	10:00 12:20	<テーマ> "The Perfect Mix: Cognitive Linguistics Meets Historical Linguistics" [presented in English]		< テーマ > 主観性 認知発達とメタ ファーとの関連から	<テーマ> "Situating Self, Expressing Emotions, and Quoting Thought: What Narrative and Face-to-face Conversational Data Reveal about Cognition, Culture, and Language" [presented in English]	
		Mariko Goto Higuchi (Kyushu Institute of Technology), Bridget Drinka (University of Texas), Kazuho Mizuno (Hiroshima Shudo University)		鍋島弘治朗(関西 大学), 杉村伸一郎 (広島大学),深田智 (聖トマス大学)	堀江 薫(東北大学 大学院). 藤井洋子 (日本女子大学), 成 岡恵子(日本女子大学), 成 一の恵子(日本女子大学), 野村佑子(日本 女子大学[院]), N.J. Enfield(マックスプラン ク心理言語学研究所, ディスカッサント), 大 堀壽夫(東京大学大 学院, ディスカッサント)	

昼食休憩(12:20~13:20)

特別講演 (13:20~15:20)	講師	Dr. Nick J. Enfield (マックスプランク心理言語学研究所)
(13.20~13.20) 1B館 大講義室	演題	"Item/System: language from mind to population"

総会(15:20~15:30) 1B館 大講義室

		第1室	第2室	第3室	第4室	第5室	第6室
		1B館 1B011	1B館 1B013	1B館 1B014	1B館 1B015	7号館 701	7号館 702
第1発表		の結果から・」近藤安 月子(東京大学大学 院)、姫野伴子(明治		うに造形されるのか」 西谷工平(大阪市立 大学[院])	「日本語の動詞反復表現―「VてもVても」「VにはV」を例として」野呂健一(名古屋大学[院])	<i>down、in-out、on-off</i> を例にして」大谷直輝 (京都大学大学院/日	よる名詞メタファーと 形容詞メタファーの理 解過程の比較」 坂本
第2発表	16:25 17:05	(名古屋大学[院])	「直示動詞「行く」 「来る」の意味獲得・ usage basedの観点か ら」 高梨美穂(東京 大学[院])	察 - 「試行的」な伝	体的態度表現と時制 辞, 片岡宏仁(関西 外国語大学[院])	性と文法化」嶋田紀	ファーに基づく使用に 関する一考察」 濱野 寛子(京都大学)、横 森大輔(京都大学 [院])、鈴木一平(フ
第3発表		「日中両言語に基づく数量類別詞の認知的分析」屈莉(金沢大学[院])	「プロトタイプとス キーマによる「Xとして のY」の解釈」 大西美 穂(名古屋大学[院])	「イントネーションの 言語変化に見る上昇 調の機能拡張につい て」久保田ひろい (慶應義塾大学[院])	いて名詞句の語順が	「構文的多義ネット ワークにおける並列型 及び補文型複合動詞 の位置づけ」 野田大 志(名古屋大学[院])	ついて」歳岡冴香

懇親会(18:00~20:00) グリーンサロン東山「花の木」